

## 「子どもの成長と地域社会」

四月は入園・入学・進学・進級と、子どもたちにとっては、一大行事となる時期です。

そこで、「子どもの成長」と「地域社会」との関わりについて、考えてみたいと思います。

地域社会を考える場合、家庭をぬきにしては考えられません。家庭は今や、核家族化、少子化となり高齢者の増加とともに、社会の中で大きな問題として考えられています。

両親が共働きの家庭は、今や五〇%を越えているとも言われ、帰宅した子どもたちは、空しくテレビやゲームあるいは学習塾で、時間過ごすことが多くなっています。家庭は家族にとって安らぎの場であるべき所です。しかし今の子どもたちを取り巻く家庭環境は必ずしも、よいものとは思いません。

物が豊富に与えられれば、子どもが健全に成長するとは限りません。子どもの成長にとって、家庭とその家庭の所属する地域社会の役割りは、今こそ真剣に考えられなければならないと思います。成長にとってその基盤が家庭の中でしっかりと育まれ、そして地域社会の中でさらにそれが強固なものとされなければならない時に、

その地域社会もまた、連帯意識も低下し、子どもの健全育成への関心も衰退し、加えて必要な施設も少ないこともあって、「健全育成」については、今こそ地域全体に課せられた課題と言えるでしょう。

学校五日制も目前にされる時、「家庭」「地域社会」では、子どもたちが健やかに成長するためのよい機会と捉えて「地域づくり」に取り組みたいものです。

学校五日制の導入と同時に子どもの家庭・地域社会での、生活時間は、急増するでしょう。このように考え、今後は特に次のように「家庭」「学校」「地域社会」が協力して、望ましい人間形成に努力しなければならないと信じます。

一、子ども自身で自分を高める力を育成するよい機会とする。  
・家庭や地域の中で、積極的に自分のことは、自分で実行する習慣を身につける。  
・子どもにできる仕事(継続性のある)を与えて、家族集団の一員である自覚をもたせる。  
・地域の子どもたちと進んで仲間となり、遊び等を通していろいろなことを学ぶ。  
・自分の体で生き方を学ぶ。

(体験を通して)

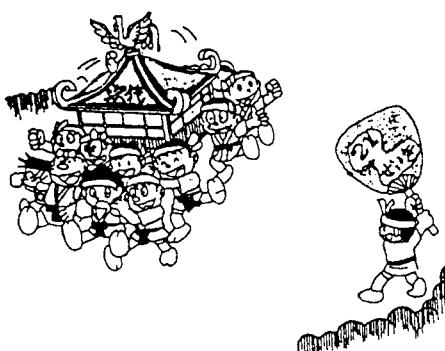
一、地域の中へ、子どもの施設を増やすように努力するとともに、

地域の大人群が地域の子どもによき指導者であるという自覚を持つようになります。

三、生活時間の余裕を、勉強の加重へのみ利用し、子どもを追い詰めないように留意する。

うではありませんか。  
2 育成会活動の活性化  
育成会活動は、青少年の健全育成であり、ふるさとづくりでもあります。「子どもは地域の中で育ち、地域は子どもで結ばれる」と言われています。活力ある育成会活動は、地域の発展につながります。その活動を推進するのは、地域住民である私たちです。

(1) 子どもが主役  
子どもたちが実施する活動や行事は、子どもたちが主役でなければなりません。ややともすると子どもが、わき役になりがちです。大人は子どもたちの願いをくみとり、適切な助言と指導と援助をして、活動や行事が遂行されるよう、計画・実行・反省まで子どもを主役にして(子どもの自主性)進めさせたいものです。



(2) 子どもクラブ(子ども会)を組織しましょう。  
「金を出しても口だすな、口を出しても手を出すな」と言います。過保護・過干渉になりがちな大人への戒めの言葉だと思います。

育成会の中へ「子どもクラブ」の組織をつくり、その組織により活動や行事の計画・実行・反省等を、自主的に実践させ、大人は

育成会には、青少年と共に伸びる地域づくりへの役割が期待されています。マンネリ化とも見直し、活力ある育成会を育てよう。育成会活動は、地域住民である

大人全員で推進しなければなりませんが、各地区には「育成会長」さんが決められています。育成会活動ことで相談があれば、どこへ報ください。

☆中央 3-8-1  
都留市育成会連合会事務局  
文化会館内

☎ (43) 1321  
会費 年額 1000円  
申込締切 4月20日

## 市民会議会員募集

「青少年のための都留市民会議」では、平成四年度の会員を募集します。青少年の健全育成に広く市民の皆さまの力を發揮してください。

申込先 文化会館三階 青少年のための都留市民会議事務局

☎ (43) 1321  
会費 年額 1000円  
申込締切 4月20日

エビネ展示会のお知らせ

## エビネ展示会のお知らせ

五月三・四日の両日、富士女性センターにて、九州産エビネ(ヒゼン、サツマ、タカネ、ジエビネ)並びに伊豆産エビネ(コオズ)の銘品、無銘品の展示会を行います。

多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

主催 都留市エビネ研究会